

平成 19 年 3 月 7 日

各位

会社名 石油資源開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 棚橋 祐治
コード番号 1662
問合せ先 広報 IR 部広報グループ長 長谷川茂吉
電話番号 03-5461-7413

インドネシア Kangean 鉱区への資本参加および権益取得について

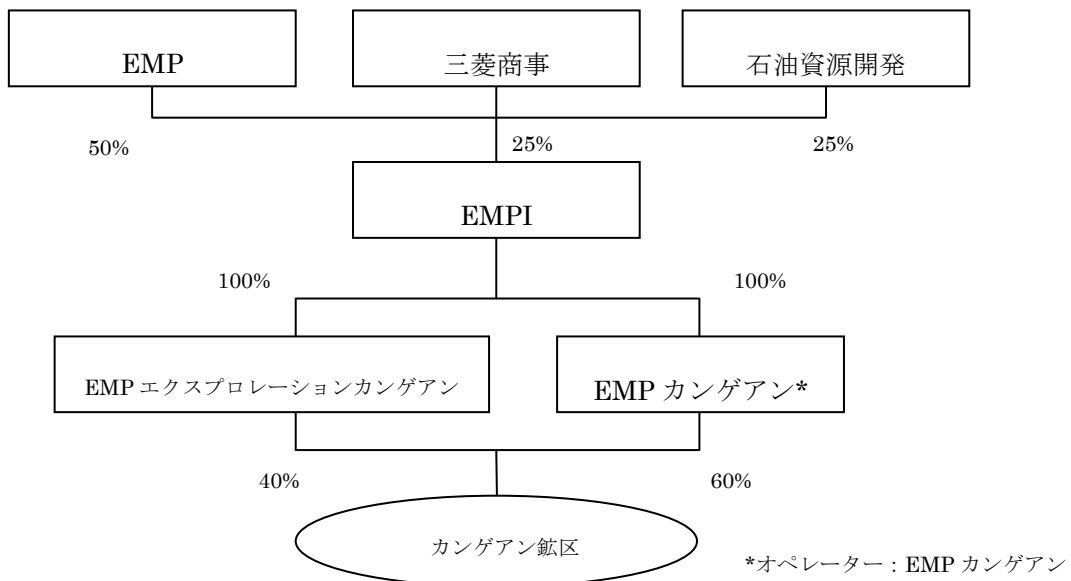
三菱商事株式会社および石油資源開発株式会社の 2 社は、インドネシア大手石油会社であるエネルギー メガ プルサダ社(EMP)の 100%子会社であるエネルギー メガ プラタマ社(EMPI)に資本参加することにより、インドネシア ジャワ島東部の Kangean(カンゲアン)鉱区の権益を取得することに合意いたしました。EMPI は、子会社の EMP カンゲアン社(権益の 60%)および EMP エクスプロレーションカンゲアン社(権益の 40%)を通じて同鉱区を 100%保有しています。

EMPI は新株発行を行い、日本側 2 社が引き受けることにより、2 社は EMPI に 50%(それぞれ 25%)出資することとなります。2 社の新株引き受け価額は、360 百万米ドル(それぞれ 180 百万米ドル)となり、今後の同鉱区における開發生産作業は、三菱商事株式会社と石油資源開発株式会社の 2 社が主導していくこととなります。

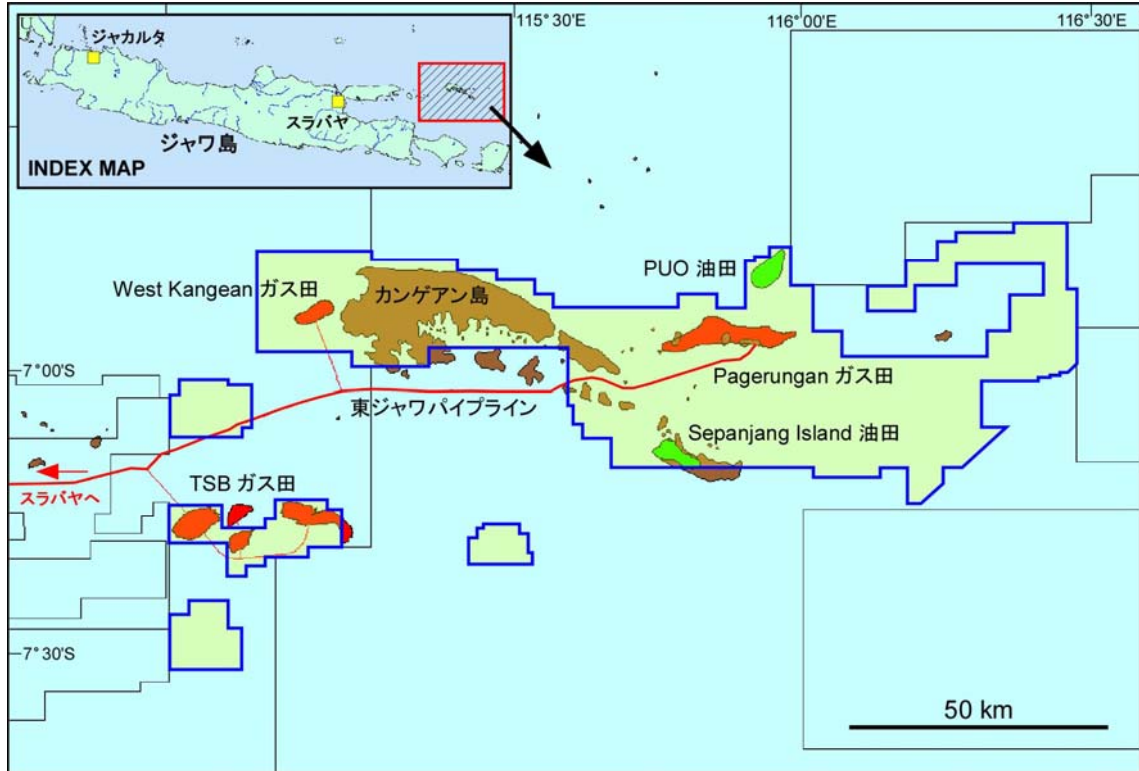
カンゲアン鉱区は、鉱区面積 4,500 平方キロメートル、東ジャワ州東部沖に位置しており、2006 年の平均生産量は天然ガス約 6,000 万立方フィート/日、原油約 600 バレル/日、原油換算 10,600 バレル/日ですが、同鉱区内には今後開発を予定しているガス田・油田が複数存在し、さらに新たな油ガス田の発見が期待される鉱区です。

記

■日本側 2 社による資本参加後のカンゲアン鉱区権益保有スキーム



カンゲアン鉤区位置図



以上